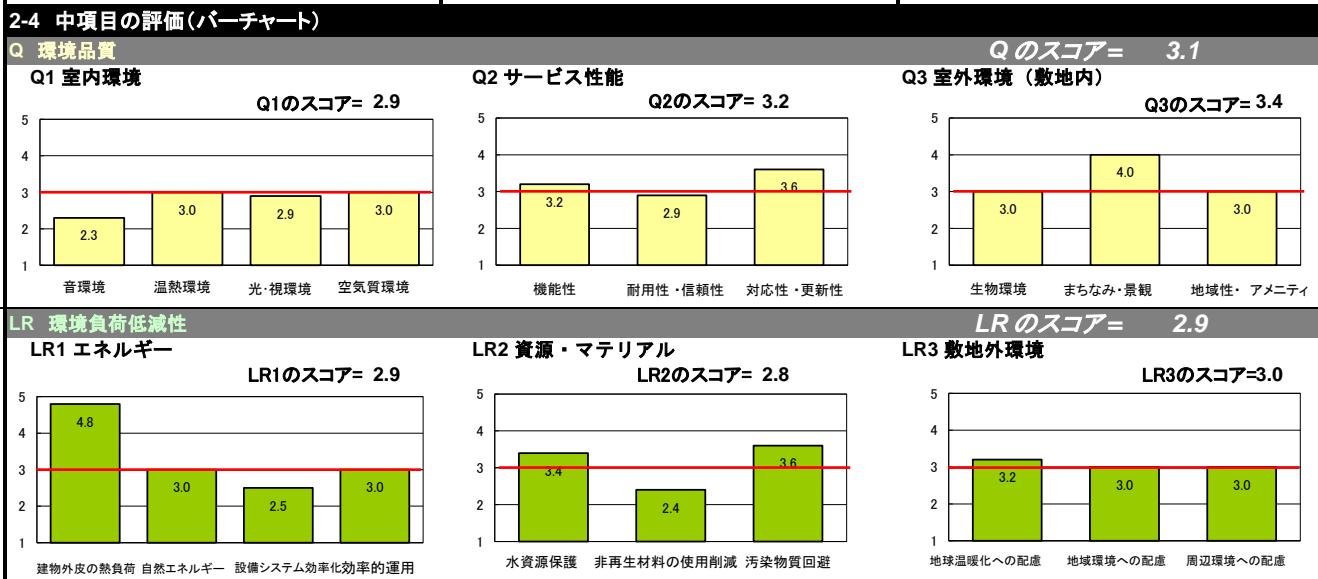
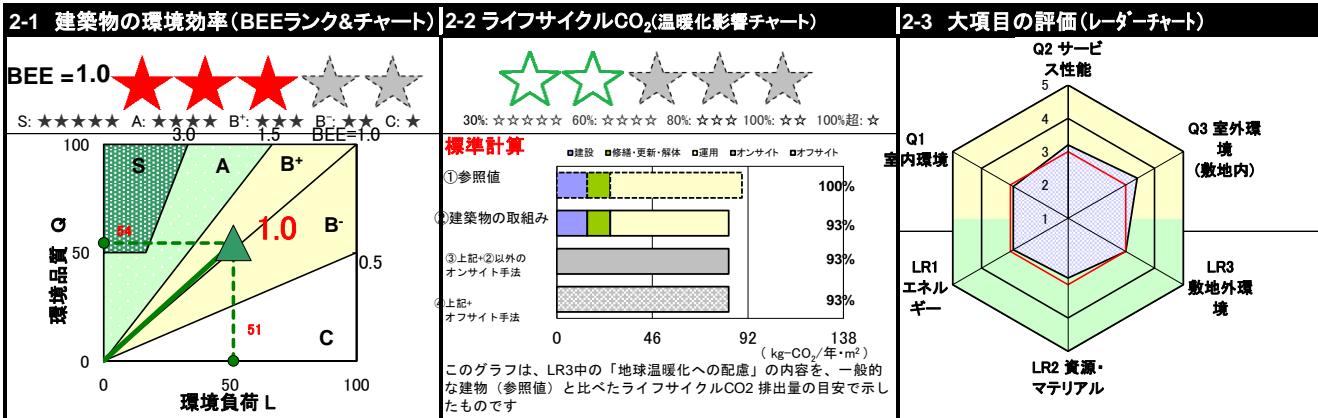


CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	レクサス相模原新築工事	階数	地上2F
建設地	相模原市中央区東淵野辺四丁目2157番 1外	構造	S造
用途地域	準工業地域・防火指定なし	平均居住人員	15 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集会所,工場,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年5月24日
敷地面積	5,704 m ²	作成者	大成建設㈱一級建築士事務所
建築面積	3,028 m ²	確認日	
延床面積	3,083 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
前面道路側商業地の賑わいを演出することを意図しデザインした。また住宅地側は建物を境界から後退させ植栽を施し、周辺への環境悪化を感じさせない設計を心がけた。 外壁はピロティや大型開口の他、壁面を雁行させ変化をつける事により分節化し、単調さや圧迫感を感じさせないデザインとしている。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> 禁煙ブースにより非喫煙者が煙に曝されない対策をとっている。 事務所部分の照度は700lxとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内外装計画はCG・模型等により十分に事前検証されている。 ユニットシャワーの高湿排気ダクトにはステンレス鋼板を使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩道に沿って前面に緑地を施した1階フロントは連続する大型ガラスの採用で、視覚的な広がりを持たせた。 前面道路側は2階をセットバックさせ、屋上の駐車場や設備スペースは視界から遮断し、まちなみの景観に配慮。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> 建物外周壁の大半を二重壁とし断熱効果を高めると共に、省エネルギー機器を採用するなど省エネに努めた。 建物外皮の熱負荷制御(BPI_m)は0.82 	<ul style="list-style-type: none"> 節水型便器を採用し、化学物質排出把握管理促進(PRTR)法に該当しない建材種別が4つ以上ある。 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場及び管理用車両の駐車施設を確保し、周辺道路の渋滞緩和に資するよう出入口の位置・範囲を大型車両の軌跡で決定している。

- CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- 「ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される